

第 4 号様式 (第 10 条関係)

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 1 回武蔵村山市市民健康づくり推進協議会
開 催 日 時	令和元年 1 月 20 日 (水) 午後 7 時 30 分～午後 9 時 00 分
開 催 場 所	中部地区会館 402AB 学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：半田委員、乙幡委員、佐藤委員、早田委員、清水委員、吉村委員、長島委員、渡邊委員、田中委員、山下委員、松下委員、木村委員、矢野委員、前原委員 欠席者：鈴木委員、高橋委員 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康係主任、健康係技師、母子保健係長、成人保健係長、成人保健係主任、成人保健係技師、
議 題	1 委員委嘱書・任命書の交付 2 健康福祉部長挨拶 3 委員自己紹介 4 事務局紹介 5 報告 (1) 平成 30 年度第 2 回武蔵村山市市民健康づくり推進協議会会議結果について (2) その他 6 議題 (1) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画平成 30 年度末推進状況調査結果及び平成 30 年度末目標値調書について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題 1 について： 資料 1 「平成 30 年度末における『武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画』の推進状況に関する調査結果」の第 1 節及び第 2 節、資料 2 「平成 30 年度末における『武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画』目標値調査結果」のとおり承認。 議題 2 について： ・次回会議は、令和 2 年 1 月 22 日 (水) 午後 7 時 30 分から開催する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ○委員 ●事務局	1 委員委嘱書・任命書の交付 2 健康福祉部長挨拶 3 委員自己紹介 4 事務局紹介 5 報告 (1) ●平成 30 年度第 2 回武蔵村山市市民健康づくり推進協議会会議結果について説明。 (2) その他 ●武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画は 5 か年計画となっており、次期計画は令和 2 年度に市民意識調査、令和 3 年度に第三次計画策定予定となっている旨を説明。

6 議題

(1) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画平成30年度推進状況調査結果及び平成30年度末目標値調査書について

●資料1平成30年度末における「武蔵村山市第2次健康増進計画・食育推進計画」の推進状況に関する調査結果（P1～P5）及び、資料2平成30年度末における「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画」目標値調査結果について、平成29年度と比較して評価が変更になった事業を中心に説明。

○朝食欠食率のデータはどこから出てきたものか。

●全国学力・学習状況調査の集計結果である。

○フードドライブについて、市内では食料を調達出来なくて困っている人は何%いるか。

●把握していないが、需要はある。

○部活動加入率について、保健対策とどのように関係があるのか。運動部、文化部、また地域のチームに加入している児童・生徒など様々で、90%という数値は難しいのではないか。加入率を上げる策もあれば教えてもらいたい。

●確認して次回回答する。

（資料3平成30年度末における「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画」の質問・意見についてP1）

●（質問・意見）子どもの栄養と歯科相談について、子供の栄養と歯科相談を廃止するのはなぜか。評価がBなのに。

（回答）令和2年度からは、母子、栄養、歯科が一体化され業務を実施する予定であることから、常時計測や保健師、栄養士、歯科衛生士と相談できる体制へ変更する。

●（質問・意見）稲作体験学習について、水田学習は、農友会が毎年田植え前の代かき作業を行っているが、農友会の会員も減少し、対応する機会を提供する方も少なくなっている。今後は難しくなっていくかとも思っている。村山の農家もお手伝いしていることを伝えていただけると嬉しい。

（回答）ご意見として捉えている。現在、小学校5年生を対象として自然体験・勤労体験学習の一環として実施している。教育委員会に確認、機会を捉えて農友会に協力を頂いているとの話はしているとのこと。

●（質問・意見）Food（風土）グランプリについて、30年度実施時、来場者が20,006人とあり、市民の交流の場であり、市の特産物を知っていただく良い機会だと考えてたが、今後予定されているのか。

（回答）今後予定されていない。地域の絆も深めることを目的としていたが、その目的が達成されたとし廃止となった。

●（質問・意見）糖尿病等重症化予防保健指導について、「健康相談・栄養相談事業」は、健康相談10人、栄養相談5人の参加人数でも廃止になっている。しかし、糖尿病重症化予防事業は、7人の参加人数で30年度評価Bとされ、事業も継続となっている。糖尿病事業が10人以下の実施人数でも廃止されないのは何故か。費用対効果の面でメリットはあるのか。

（回答）糖尿病性腎症重症化予防事業については、第二期データヘルス計画において目標値を国民健康保険被保険者10人と想定して行って

いる。厚生労働省が策定したプログラムに沿って実施されており、平成28年からのフォローアップ者22人は透析導入されていないので、医療費削減が図られていると思われる。令和元年度から東京都が事業の効果検証を行っている。詳細は東京の国保P4～P13、別紙平成30年度国民健康保険医療費分析及び保健事業実施報告書P5～P22参照。

●（質問・意見）各種がん検診の実施について、子宮がんと乳がん検診に関して、令和2年度以降で東京都がん検診センターが受け入れを縮小するが、新たな検診機関の費用が高価な場合は、検診費用の自己負担などの導入は検討するのか。

（回答）がん検診費用の自己負担などの導入は検討していない。

●（質問・意見）胃がん検診について、内視鏡検診も国の指針では認められるようになった。市では、胃がんの発見率を高めるために、内視鏡検診の導入はしないのか。

（回答）国の指針では、問診に加え、胃部エックス線検査又は内視鏡検査のいずれか、対象は50歳以上、2年に1回としていますが、当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対して実施可。また、検査については年1回実施可としており、本市ではエックス線検査で実施している。内視鏡検査については本市の医師会にも相談をした経緯はあるが、実施できる医療機関、読影医師の確保、読影委員会の設置、検診費用等、さまざまな問題等があることから、現在のところ導入する目途は立っていない。

—質疑・意見等—

○糖尿病等重症化予防事業について、対象者7人の糖尿病のかたのステージを教えてください。糖尿病になってから透析導入まで時間かかかるので、なるべく糖尿病になる前に健康相談等で防ぐのが理想と思う。学校ではそこを狙っているため、一緒に推進していただければと思う。

○小さい頃からの食生活の指導で、生活習慣病はかなり減らせるのではないかと思う。1人がステージ3、6人がステージ2となっている。

○平成30年度国民健康保険医療費分析及び保健事業実施報告書P11について、効果分析対象者数は平成30年度の7人だけだが、いままで実施して積み重ねてきた人たちはどうしているのか。

○平成30年度国民健康保険医療費分析及び保健事業実施報告書P20参照。業者がかわり、個人情報観点から、平成28年度実施者については報告に載せていない。実施者にはその後の生活状況、重症化していないか、透析に至っていないか等々確認している。

○医療費が指導完了者のほうが不参加者より高いが、指導完了者のほうが病院で医療費を使うからという解釈でいいのか、それとも人数が少ないから評価ができないという解釈でいいのか。

○かかりつけ医に定期的にかかっていることから費用が増えていると考えている。レセプト等確認している。

（資料3平成30年度末における「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画」の質問・意見についてP2）

●（質問・意見）朝食欠食率について、小学6年生と中学3年生の欠食率がそれぞれ増加しているが、増えている原因が何かあるのか。受験などが関係しているか。

（回答）データは毎年度実施される全国学力・学習状況調査によるもので、欠食率が増えている状況。各小中学校によって欠食率の差がある。各年度で対象者が異なることから一概には言えないが、増えている要因としては、両親の共稼ぎ、就労しているひとり親家庭、年度によっ

ては情報誌での影響によるのではないかと教育委員会は捉えている。

●（質問・意見）健康相談・栄養相談の利用人数について、平成27年度の策定時26人／年より年々減少しているような状況であるが、平成33年度（令和3年度）の目標値は120人／年となっている。この目標値を揚げた根拠となっている具体的な対策はあるのか。

（回答）目標値120人／年の設定については、他市の実施状況等を参考として設定した。広報等については、市報、ホームページ、各種検診等で周知するとともに、会場の見直し等を行い実施していた。年々利用者が減少したことから、行政評価委員会にて費用対効果等の観点から廃止の方向が決定され廃止とした。なお、市民からの健康相談・栄養相談については、保健師、栄養士、歯科衛生士が常時対応している。

●（質問・意見）歯周病検診について、すでに目標値を大幅に超えた受診者数で素晴らしい。平成30年度が特に多いのは何か対策をとったのか。また、どのような働きかけをしたのか。

（回答）平成29年度までは集団歯科検診、乳幼児歯科健診の際に保護者を対象として実施していたが、平成30年度から40歳以上の一般市民対象として個別検診として実施した。周知方法としては、市報、ホームページ、各種がん検診、各種健康教室での周知、また、市内公共施設、市内医療機関等でのチラシの配布、ポスターの掲示を行い周知に努めた。特定健診の案内にも載せた。

●（質問・意見）3歳児の虫歯のある者の割合について、すでに虫歯のある者の割合が14.6%と下回っているのに、評価が「D」なのはなぜか。

（回答）目標値は下回ることができたが、前年度よりむし歯のある者の割合が増えている。また、東京都の平均値は8.2%で毎年減少傾向であるのに対し、本市は東京都と比較すると6.4ポイント高い状況にあるため、評価をDとしている。

●（質問・意見）自殺者数について、年齢別の数が知りたい。

（回答）平成30年度の自殺者は16人で、男性9人女性7人となっている。年齢別では、20～24歳男性1人・女性2人、40～44歳男性1人、45～49歳女性2人、50～54歳男性1人、55～59歳男性1人・女性1人、60～64歳男性1人、65～69歳男性2人、70～74歳女性1人、75～79歳男性1人、80～84歳男性1人・女性1人となっている。

●（質問・意見）健康教室参加者数について、目標値が現状値の約3倍の660人となっているが、人数を増やす具体的な対策はあるのか。

（回答）健康推進課では7教室で実施している。場所は主にお伊勢の森分室となっており、他の乳幼児健診や発達健診等との兼ね合いから教室数や実施日数を増やすことは難しい。しかし、高齢福祉課の事業として、市民総合センター等において太極拳、介護予防、膝痛予防、筋力向上トレーニング事業、認知症予防等の教室を実施し、参加者は計2,698人となっている。今回の計画では健康推進課のみの表示となっているが、第三次計画策定の際には、表記の仕方等を工夫したい。

●（質問・意見）乳幼児健康診査の受診率の評価について、どの健診も受診率は上がっているのに、評価が異なるのはなぜか。特に、3～4か月健診は100%ではないが、あがっているのに「D」評価なのはなぜか。

（回答）前年度より受診率が上がっている健診については「B」評価

とした。また、受診率が下がっている健診で、3～4か月健診は「D」悪化しているとした。2歳歯科健診は「C」としているが、同様に評価するなら「D」悪化しているとなる。

●（質問・意見）目標値の表記について、「目標値の0%」「100%」のあとに、近づけるという言葉は要らないのではないか。

（回答）国の指針等で目標値等が示されている事業では、その目標値を表記している。しかしながら、目標値が示されていない事業については、他の計画を見ると目標値の設定はまちまちとなっている状況である。例えば、目標値を今の数値より「増やす」「減らす」「上げる」「下げる」と表記している計画もある。本市では、東京都の計画が例えば「0%に近づける」との表記をしていることから、それに合わせ「近づける」としている。

—質疑・意見等—

○健康教室参加者数は、健康推進課として実施しているものを増やして目標値660人に近づけていくのではないか。

●年間のスケジュールから考えると、目標値660人に近づけるのは難しいのではないかと考えている。健康推進課としては、現状値の200人前後が計画人数になると考えられる。次回は目標値を見直すとともに、高齢福祉課と併せて健康福祉部として人数を考えたい。

(2) その他

○糖尿病性腎症重症化予防事業については、分かりやすい説明ができず申し訳なかった。参加者が年7人と1桁だが、なんとしてでも透析導入になるかたを1人でも増やさないでおきたいという国の施策でもあるため、継続させたい。北多摩西部保健医療圏域の担当者で課題解決に取り組んでいるため、ご了承いただければと思う。東京の国保の中には、イオンモールで健康づくり相談会をやった記事等がのっている。時間のある時にご覧いただきたい。

●次回は、資料1「平成30年度末における『武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画』の推進状況に関する調査結果」の第3節から第5節について議論する。今回のように事前に質問等受け付け、確認したいので、担当者から後日案内等送付する。会議録も後日送付し、修正等受け付け、次回の協議会で報告させていただく。

●資料7次回の日程について、事務局案として令和2年1月22日（水）でいかがか。

○異議なし。

<結論>

・「平成30年度末における『武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画』の推進状況に関する調査結果」の第1節及び第2節、資料2「平成30年度末における『武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画』目標値調査結果」のとおり承認。

・次回は、資料1「平成30年度末における『武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画』の推進状況に関する調査結果」の第3節から第5節について議論する。

・次回は、令和2年1月22日（水）19時30分から開催する。

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： _____ 0人
-----------------	---	---------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____)
------------------	---

庶務担当課	健康福祉部 健康推進課 成人保健係 (外線: 0 4 2 - 5 6 4 - 5 4 2 1)
-------	---

(日本工業規格A列4番)